

帯広三条高校の「ふるさと応援事業」

帯広三条高校では・・・

十勝の自治体や企業が抱える課題や地球規模で問題になっていることを、高校生の視点から「SDGsの考え方」を用いて解決します。地域との連携・協働を通じ、生徒の主体的な学習の実践から、質の高い教育とPDCAサイクルに基づく授業改善につなげていきます。

十勝や地球規模の課題解決



十勝の官公庁や大学・企業のスタッフ、JICA帯広の研修員と話し合い、各自治体や企業が抱える課題や地球規模での問題を解決する取り組みを実施します。

課題を発見し、それを解決するための方法を学ぶことにより、創造力が育成されます。また、十勝を支える社会人や世界各国の方と話し合いをすることで、視野が大きく広がります。

課題解決型授業の実践



各教科・科目において、SDGsの考え方を取り入れた授業を実施。知識を重視した授業から、思考力を重視した授業へと変化します。

今までの一方向の授業から、生徒と教員で作る双方向の授業へと変わります。SDGsの考え方を学び、授業の中に活かしていくことで、子どもたちの思考力が向上します。

この事業でいただいた寄附金は、キャリア教育充実のための著名人による講演のほか、生徒の教育活動に必要不可欠なICT関連機器の購入に充てます。

<お問い合わせ>

〒080-2473 北海道帯広市西23条南2丁目12番地 電話:0155-37-5501 FAX: 0155-37-5503

E-MAIL obihirosanjyo-z2@hokkaido-c.ed.jp 北海道帯広三条高等学校 教頭